

農業農村地域における情報利活用の未来図

愛知県農業総合試験場

農業工学研究室

主任研究員 坪井 充

題名：「第3のGoto」

愛知県農業総合試験場 農業工学研究室
主任研究員 坪井 充

1.提案に至った経緯

以前から、災害が起きたときにはボランティアの方たちが労力提供を行っている姿や、傷ついたリンゴの斡旋するなどの場面を見ました。

こういった支援は、事が起きた場合に限られ、ギリギリで生産を行っている農家に対して日常的に支援ができる方法はないか、消費者の一人として考えることがあったためです。

2.未来図の概要

今回のコロナウィルスの影響下では、収穫や出荷ができない状況から、価格の高騰や品不足に始まり、飲食業の休業による消費低迷など、食の安定供給に対して教訓が示されたと言えます。

そこで「Go to Eat」「Go to Travel」に続き、「生産者と消費者が繋がり、農業に消費者が参加する未来の農業農村地域」となるための農村情報ネットワークを「GoTo」というワードを入れて提案します。

3.現状の分析

災害で大きな被害が起きた場合には、「GoTo」が自然に始まりボランティアの支援による復旧が行われるようになってきています。しかし、農業農村地域の現状ではどうでしょう。労働力不足で供給が滞ったことは“災害で大きな被害”に相当すると思いますが、

「GoTo」は起きていません。消費低迷による価格の下落や品余りも“傷ついたリンゴの斡旋”のような

「GoTo」も目にしません。なぜ、このような

「GoTo」の違いが起きたのでしょうか。災害でも小さな被害の場合は「GoTo」が始まることが少ないことと同様に“情報”“窓口”の状態の違いが「GoTo」に表れたと想定しました。

4.具体的な対策

“情報” “窓口”の状態が災害時の「GoTo」が起きるレベルと同等に、農村から発信される情報のネットワークが成長と定着することで、消費者の意識と理解が向けられ、自発的な「GoTo」が農業農村地域に向けて始まり「生産者と消費者が繋がり、農業に消費者が参加する未来の農業農村地域」になるものと考えます。

フリー 掲示版	地域	野菜	果物	特選品 お買得
購入 予約	イベント	旬の 料理	募集!!	すべて

緊急 !!!!!

「〇〇地区」で〇〇の「収穫支援」を募集しています!!!

全般

地域

野菜

果物

...

出荷
情報

〇〇地域から、△△△の出荷が始まります。
 今年は天候に恵まれ、甘さが強く、大きくできました。
 ◇月◇日まで出荷を予定しています。
 ※□□□販売所にて◆月◆日まで直販も行います。

募集!!

作業: 収穫物の運搬 [Level:4].....〇人
 品目: △△△
 地域: □□市□□町□□(▲●農園)
 期間: ◇月◇日~■月■日まで

お買
得

今年は天候に恵まれ、▽▽▽が豊作です。
 ◇月◇日に、スーパー◆◆でお買い得提供します。

えっ...
手伝いに
来れないって
...どうしよう(´Д`)

お待たせしました
△△△
出荷します)^o^(

◇◇◇...
しばし...お待
ちください
m(____)m

食べごろは
〇〇〇
でえ~す!!

今晚...
ナニ...
食べる?

◇◇◇が
食べたい
よ~(+o+)

今年も...
△△△
楽しみねえ~
(^^)/

困ってるみたい
手伝いに行く
よお~(^_-)-☆